

-大学院歯学独立研究科-

第 107 回 大学院 研究科 発表会 プログラム
第 29 回 テーマ 発表会 プログラム

大学院学生等が、これまでの研究成果を発表します。
どなたでも聴講できますので、多数の参加をお待ちしております (聴講申込不要)

場 所：実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナー室

日 時：2022 年 10 月 26 日 (水) 17 時 25 分 開会

-2022 年 10 月 26 日 (水) -

No.	発表区分・予定時間	演題名・発表者	審査委員
	17:25	開会挨拶 平岡研究科長	
1	[大学院] 17:30~18:00 司会:吉成 教授	「歯科大学生 101 名の血圧とう蝕未処置歯数、歯周ポケット深さおよび Body Mass Index との関連について:入学時から 3 年間の追跡調査」 佐故 竜介 歯科医師 歯科保存学講座所属	主査:谷山准教授 副査:藪島教授 :吉田教授
2	[テーマ] 18:00~18:10 司会:小林 教授	「血管内皮細胞由来 Wnt の骨代謝への影響検討」 高橋 拓実 硬組織疾患制御再建学講座 硬組織機能解析学	-

発表内容の要旨(論文博士)

Abstract of Presented Research (For Doctoral Thesis Evaluation)

(ふりがな)	さこ	りゅうすけ
氏名 Name in Full	佐故	竜介
現在の職業 Present Occupation	歯科医師	
指導教員又は 本研究科紹介教員 Academic Advisor or Referee	吉成 伸夫	
発表会区分 Type of Meeting	中間発表会 ・ 大学院研究科発表会 ・ 松本歯科大学学会 Midterm Meeting / Graduate school research meeting presentation / The Matsumoto Dental University Society	
演題名 / Title of Presentation		
歯科大学生 101 名の血圧とう蝕未処置歯数, 歯周ポケット深さおよび Body Mass Index との 関連について: 入学時から 3 年間の追跡調査		
発表要旨 / Abstract		
<p>目的: 高血圧症は脳心血管疾患の最大の危険因子であり, 血圧と歯周病との関連は以前より報告されている. 本研究では, 松本歯科大学歯学部生の入学時および 4 年時の学生に実施された健康診断および歯科検診の結果から, 血圧と口腔因子との関連について明らかにし, さらに 3 年間での口腔因子および全身因子の変化について検討することを目的とした.</p> <p>方法: 対象は, 松本歯科大学歯学部生 101 名(男性:54 名, 女性:47 名, 1 年時の平均年齢 20.3±2.7 歳)であり, 3 年間の追跡調査を行った. 健康診断にて, 全身疾患の有無, 身長, 体重, Body Mass Index (BMI), 血圧(収縮期血圧:mmHg/拡張期血圧:mmHg)を調べ, 歯科検診にて, 現在歯数, 未処置歯数, 処置歯数, 欠損歯数, DMFT 指数, Community Periodontal Index (CPI) を調べた. 血圧値分類は, ①正常血圧(収縮期血圧:120mmHg 未満かつ拡張期血圧:80mmHg 未満)/正常高値血圧(収縮期血圧:120-129mmHg かつ拡張期血圧:80mmHg 未満)群および②高値血圧(収縮期血圧:130-139mmHg かつ/または拡張期血圧:80-89mmHg)/高血圧(収縮期血圧:140mmHg かつ/または拡張期血圧:90mmHg 以上)群の 2 群に分けた. また, CPI の結果から, Probing pocket depth (PPD) および Clinical attachment level (CAL) は 4mm 未満および 4mm 以上の 2 群に分けた. 統計解析については, 入学時および 4 年時における, 血圧と口腔状態について t 検定およびカイ 2 乗検定を用いて分析した. さらに, 入学時と 4 年時それぞれについて, 二項ロジスティック回帰分析を用いて, 血圧と関連する口腔因子および全身因子を分析した. 最後に, 多項ロジスティック回帰分析を用いて, 3 年後の血圧値が「変化なし群 vs. 改善群」および「変化なし群 vs. 悪化群」を比較し, 関連する口腔因子および全身因子について解析した.</p> <p>結果: 血圧値分類が高値血圧以上の者では, 1 年時では未処置歯数が有意に多く, オッズ比 1.339 倍(95%信頼区間 1.102-1.627, P=0.003), 4 年時では PPD4mm 以上が多い傾向にあり, オッズ比 3.882 倍(95%信頼区間 0.863-17.453, P=0.077)であった. また, 3 年間で血圧が悪化した者では, BMI が増加しており, オッズ比 1.711 倍(95%信頼区間 1.129-2.592)であった. よって, 高値血圧以上では, 口腔内の状況や BMI と関連することが示唆された.</p> <p>結論: 高値血圧以上の者では, 未治療のう蝕残存数と関連がみられた. また, 3 年間で血圧が悪化した者は BMI が増加していた.</p>		